

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大森屋

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriva.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲野 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	8,408	△3.9	139	△31.4	146	△30.4	78	△25.4
23年9月期第2四半期	8,749	3.4	204	△4.3	210	△5.0	105	△8.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	15.46	—
23年9月期第2四半期	20.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第2四半期	12,400	9,369	75.6	1,845.53
23年9月期	12,167	9,384	77.1	1,848.33

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 9,369百万円 23年9月期 9,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,750	△2.6	270	△30.6	280	△29.5	140	△32.3	27.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	5,098,096 株	23年9月期	5,098,096 株
24年9月期2Q	21,225 株	23年9月期	20,826 株
24年9月期2Q	5,077,156 株	23年9月期2Q	5,078,068 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項については、添付資料3ページの「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による国内経済の停滞が回復傾向にあるものの、欧州諸国の財政危機問題をはじめとする世界経済の減速を背景とした長期的な円高により、景気の先行きは依然として不透明なまま推移いたしました。

当業界におきましては、少子高齢化の影響や消費者の生活防衛意識の高まりから、節約志向、低価格志向が恒常化しており、引き続き厳しい環境にあります。また、当社製品の主要原材料である原料海苔は、東日本大震災の影響による東北地区での生産量の減少に加え、主要生産地である九州地区においても、生産量は前年に比べて大幅な減産となったため、仕入価格が高騰いたしました。

このような状況のもと、当社では消費者のニーズに合った製品の強化に努めるとともに、コスト削減に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は8,408百万円(前年同期比3.9%減)となりました。利益面におきましては、営業利益は139百万円(前年同期比31.4%減)、経常利益は146百万円(前年同期比30.4%減)、四半期純利益は78百万円(前年同期比25.4%減)となりました。

以下、品目別売上高の状況は次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、消費者の低価格志向が強まる中で、消費者のニーズに合った製品の強化に努めましたが、売上高は3,155百万円(前年同期比3.6%減)となりました。進物品につきましては、ギフト市場の低迷が続いており、売上高は1,167百万円(前年同期比8.3%減)となりました。ふりかけ等につきましては、競合他社との販売競争激化により、売上高は1,820百万円(前年同期比6.2%減)となりました。業務用海苔につきましては、既存取引先での取扱品目の増加等により、売上高は2,245百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて232百万円増加し、12,400百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて240百万円増加し、9,667百万円となりました。これは主に、主要原材料である原料海苔の買付けにより原材料及び貯蔵品が2,318百万円、受取手形及び売掛金が6百万円それぞれ増加したこと、現金及び預金が2,075百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて8百万円減少し、2,732百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて244百万円増加し、2,383百万円となりました。これは主に、原料海苔の買付け資金として短期借入金が200百万円、支払手形及び買掛金が98百万円それぞれ増加したこと、その他流動負債が34百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて3百万円増加し、647百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて14百万円減少し、9,369百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べて2,250百万円減少し、601百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2,173百万円(前年同四半期比877百万円増)となりました。これは主に税引前四半期純利益181百万円(前年同四半期比20百万円減)、減価償却費68百万円(前年同四半期比5百万円減)の収入があったものの、たな卸資産の増加額2,226百万円(前年同四半期比1,084百万円増)、法人税等の支払額97百万円(前年同四半期比6百万円増)の支出があったことによるものであります。

なお、当社の主要原材料である海苔は、おおよそ11月から翌年3月にかけて収穫され、この期間に翌1年分の原料海苔を仕入れるため、第2四半期会計期間末ではたな卸資産が増加いたします。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は176百万円(前年同四半期比144百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入46百万円(前年同四半期比45百万円増)があったものの、有形固定資産の取得による支出44百万円(前年同四半期比14百万円増)、定期預金の純増額175百万円(前年同四半期比175百万円増)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は98百万円(前年同四半期比0百万円減)となりました。これは主に短期借入による収入200百万円および配当金の支払額101百万円(前年同四半期比0百万円増)によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の通期業績予想につきましては第2四半期の業績等を考慮して、平成23年11月14日付「平成23年9月期 決算短信」で発表いたしました数値を変更しております。詳細は、平成24年5月11日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年9月30日まで 40.0%

平成24年10月1日から平成27年9月30日まで 37.6%

平成27年10月1日以降 35.3%

この税率変更により繰延税金資産の純額が13,260千円減少し、法人税等調整額が14,976千円増加しております。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,077,239	1,001,684
受取手形及び売掛金	2,711,939	2,718,750
製品	715,488	627,438
仕掛品	86,944	82,488
原材料及び貯蔵品	2,743,615	5,062,531
その他	91,477	174,782
流動資産合計	9,426,704	9,667,676
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,073,531	2,067,424
減価償却累計額	△1,623,173	△1,623,936
建物(純額)	450,357	443,487
土地	1,517,542	1,509,111
その他	1,928,387	1,969,823
減価償却累計額	△1,647,799	△1,672,025
その他(純額)	280,588	297,797
有形固定資産合計	2,248,489	2,250,396
無形固定資産		
投資その他の資産	58,948	49,975
投資有価証券	196,820	211,110
会員権	29,620	29,620
その他	217,415	201,906
貸倒引当金	△10,050	△10,050
投資その他の資産合計	433,805	432,587
固定資産合計	2,741,243	2,732,959
資産合計	12,167,948	12,400,635
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	942,148	1,040,521
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	103,000	86,000
賞与引当金	93,642	90,777
その他	1,000,295	966,225
流動負債合計	2,139,087	2,383,525
固定負債		
退職給付引当金	313,166	310,122
役員退職慰労引当金	329,133	335,358
その他	2,106	2,106
固定負債合計	644,406	647,586
負債合計	2,783,493	3,031,111

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	7,531,559	7,508,511
自己株式	△20,454	△20,832
株主資本合計	9,369,317	9,345,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,138	23,632
評価・換算差額等合計	15,138	23,632
純資産合計	9,384,455	9,369,524
負債純資産合計	12,167,948	12,400,635

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	8,749,237	8,408,180
売上原価	5,360,222	5,210,188
売上総利益	3,389,014	3,197,991
販売費及び一般管理費	3,184,987	3,058,033
営業利益	204,026	139,958
営業外収益		
受取利息	210	201
受取配当金	2,127	2,248
助成金収入	2,093	1,356
雑収入	2,173	2,793
営業外収益合計	6,604	6,599
営業外費用		
支払利息	5	25
為替差損	136	—
雑損失	16	—
営業外費用合計	159	25
経常利益	210,472	146,532
特別利益		
固定資産売却益	—	35,040
補助金収入	—	1,388
特別利益合計	—	36,428
特別損失		
固定資産除却損	48	344
固定資産圧縮損	—	1,291
環境対策引当金繰入額	8,047	—
環境対策費	670	—
特別損失合計	8,766	1,636
税引前四半期純利益	201,705	181,325
法人税、住民税及び事業税	98,601	80,259
法人税等調整額	△2,062	22,568
法人税等合計	96,538	102,827
四半期純利益	105,166	78,497

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	201,705	181,325
減価償却費	73,994	68,824
固定資産売却損益(△は益)	—	△35,040
固定資産除却損	48	344
固定資産圧縮損	—	1,291
補助金収入	—	△1,388
受取利息及び受取配当金	△2,337	△2,449
支払利息	5	25
為替差損益(△は益)	204	△1,044
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,305	△2,864
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,662	6,225
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,424	△3,044
環境対策引当金の増減額(△は減少)	8,047	—
売上債権の増減額(△は増加)	△171,337	△6,811
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,141,693	△2,226,411
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,658	93,770
その他の資産・負債の増減額	△116,152	△151,415
小計	△1,207,392	△2,078,664
利息及び配当金の受取額	2,502	2,479
利息の支払額	△17	△36
預り敷金及び保証金の受入による収入	232	46
預り敷金及び保証金の返還による支出	△286	△46
法人税等の支払額	△90,698	△97,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,295,660	△2,173,349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△175,000
有形固定資産の取得による支出	△29,564	△44,290
有形固定資産の売却による収入	367	46,000
投資有価証券の取得による支出	△2,933	△2,994
国庫補助金による収入	—	1,388
その他	657	△1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,472	△176,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	200,000
自己株式の取得による支出	—	△377
配当金の支払額	△101,281	△101,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,718	98,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	△204	1,044
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,228,618	△2,250,555
現金及び現金同等物の期首残高	2,618,692	2,852,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390,073	601,684

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
家庭用海苔	1,723,656	32.7	1,653,319	32.3	△4.1
進物品	701,533	13.3	633,145	12.4	△9.7
ふりかけ等	1,024,143	19.5	1,025,267	20.0	0.1
業務用海苔	1,805,090	34.3	1,790,601	35.0	△0.8
その他	10,373	0.2	13,956	0.3	34.5
合計	5,264,796	100.0	5,116,289	100.0	△2.8

(注) 上記金額は、製造原価によっております。また、上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社は見込生産方式をとっておりますので、該当する事項はありません。

③販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
家庭用海苔	3,275,171	37.4	3,155,745	37.5	△3.6
進物品	1,273,435	14.6	1,167,628	13.9	△8.3
ふりかけ等	1,941,165	22.2	1,820,405	21.7	△6.2
業務用海苔	2,242,185	25.6	2,245,299	26.7	0.1
その他	17,278	0.2	19,101	0.2	10.6
合計	8,749,237	100.0	8,408,180	100.0	△3.9

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及びそれぞれの総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三菱商事(株)	3,187,455	36.4	2,740,820	32.6
伊藤忠商事(株)	2,011,059	23.0	2,088,363	24.8